

“山元(山林所有者等)への利益還元”に着目した林業振興支援

- 若手職員(TEAMちほめん)が主体となり企画、運営。
- 「川上事業者(山元)が如何に稼いでいくか」という、従来にはなかった新たな視点から、山元への利益還元に取り組む事業者を講師に迎え、講演会と交流会を実施。

概要

H29.4.27 山元の利益還元のあり方について
～奈良県南部東部地域の林業振興に向けて～

1. 儲ける林業 (株式会社八木木材 八木代表取締役社長)

- ・ 効率化により生産性を上げて、木材価格が値崩れし山元がその影響を被る構造に直面
- ・ そこで、素材生産業者や製材業者が共同で運営する製材所を立上げ、山元が安定して利益を得ることができる仕組みを構築



2. 「木を使い切る」真庭の取組について (銘建工業株式会社 中島代表取締役社長)

- ・ 未利用材や製材端材などをバイオマス発電に活用する岡山県真庭市での取組のほか、近年、世界的に生産が増加しているCLT(板の繊維方向が直行するよう積層接着した厚型パネル)の生産・活用事例を紹介



経緯

- TEAMちほめんの若手職員が主導となり、奈良県での地方創生プロジェクトを実施することに。テーマを決めるにあたり、奈良県と継続的な意見交換会を実施する中で、以前は吉野杉のブランドで林業が活況であったが、需要の低迷から材価が下がり、収入も上がらず働き手が減り、更に衰退が進むという負のスパイラルに陥っている状況を確認。
- ↓
- 県の従来の取組は川下事業者目線のものが多かったことを踏まえ、「山元への利益還元」という、川上にスポットを当てたテーマでセミナーを開催することを決定。

取組の成果と今後の展開

- イベント当日は、県内企業関係者のほか、地方公共団体職員や金融機関職員など、計126名が参加。



- 参加者からは、「林業業界の有名人お二人が揃った講演を聞いて非常に参考になった」等の感想をいただくなど、好評を博した。